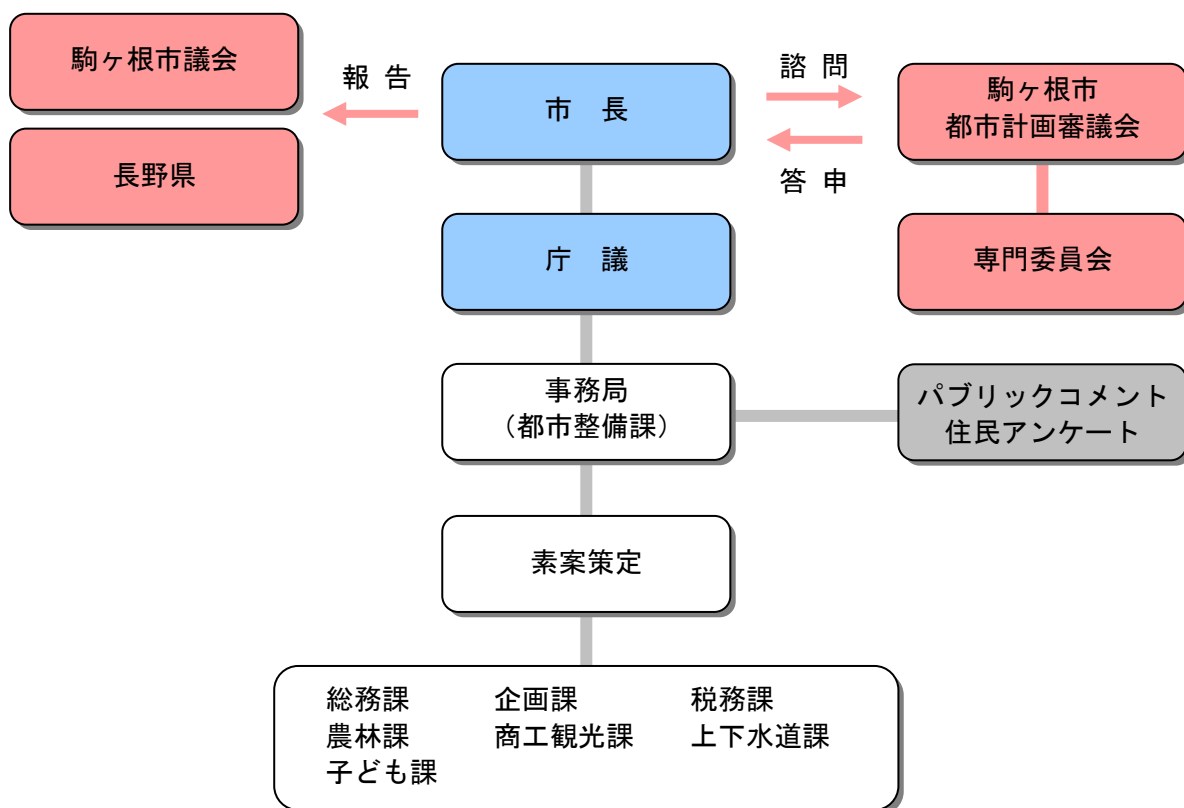


資料編



資料編

1. 都市計画マスタープラン策定体制



都市計画マスタープラン策定専門委員会

区分	氏名	所属
学識経験者	柳沢 吉保	長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
学識経験者	上原 三知	信州大学 森林科学科助教
都市計画審議委員	飯ヶ浜安司	長野県 伊那建設事務所所長

駒ヶ根市都市計画審議会

区 分	氏 名	所 属
市議会議員	加治木 今	総務産業委員長
	下平 順一	
	竹内 正寛	
学識経験者	田中 昇	駒ヶ根商工会議所 副会頭
	遠藤 一美	駒ヶ根市農業委員会 会長
	吉澤 智束	上伊那農業協同組合 理事
	下澤 輝行	駒ヶ根市区長会 町一区长
	佐々木 浩人	駒ヶ根青年会議所 副理事長
	須田 秀枝	文化センター駒ヶ根女性ふれあい館利用者の会 会長
	戸枝 まゆみ	婦人教育推進協議会伊那支部駒ヶ根支会 会長
	清水 久雄	(社)長野県建築士会上伊那支部 南部幹事
	吉澤 正敏	(社)長野県宅地建物取引業協会南信支部伊南不動産組合
関係行政機関	飯ヶ浜 安司	長野県伊那建設事務所 所長

2. 用語解説

あ 行

■ アクセス (access)

近づく方法・接近などの意味で主要施設への連絡、又はその手段。

■ 沿道サービス型業務

流通・情報通信産業やサービス業等、沿道の立地条件を生かした業務。

■ 沿道サービス型ゾーン

流通・情報通信産業やサービス業が集積する範囲。

■ 屋外広告物

広告塔・広告板などのこと。都市に活気を生み出す役割と美観を損なう面がある。屋外広告物条例などにより規制される。

か 行

■ 拡散型都市構造

市街地が郊外に拡散し、都市機能が無秩序に分散立地するような都市構造。

■ 活断層

断層のうち地震活動の形跡があり、今後も活動する可能性があるもの。

■ 環境軸

人間や生物を取り巻く自然的状況の中で中心となるもの、又は事。

■ 協働

同じ目的のために協力して働くこと。物や現象が互いに作用し合い、また、影響を及ぼしあうことをいいます。

■ グリーンベルト (green belt)

市街地の無秩序な拡大と農地保護や環境保全のために、都市周辺に帯状又は環状に取り巻く緑地地帯。駒ヶ根市においては、「美しい景観まちづくり基本計画」で河岸段丘の斜面を位置づけている。

■ 下水道マスタープラン

全市全戸下水道化を推進するため、公共下水道事業と農業集落排水事業、小型合併処理浄化槽による整備計画。

■公園

市民の休息、遊戯、レクリエーションなどに供し、併せて避難場所などとして利用するために設けられた公共施設としての庭園・広場・遊園地、又は自然保護その他を目的として定めた地域。

■郊外生活拠点

都市に隣接した地域における市民生活の中心拠点として、日常生活に関連の深い商業・業務・文化・行政・交流などの機能が集積した地域。

■公共交通

不特定多数の人々が利用する交通機関（バスや鉄道など）のこと。

■公共下水道

主として市街地における下水（汚水）を排除、又は処理するために地方公共団体が管理する排水管渠等の施設及び処理施設。

■交通結節点

鉄道の乗り継ぎ駅、道路のインターチェンジ、鉄道からバス・タクシーへと乗換えが行われる駅前広場など、交通が集中的に結ばれている地点のこと。

■国勢調査

国勢調査は、我が国の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として、日本国内に住んでいるすべての人・世帯を対象として5年ごとに行われる統計調査。

■国土利用計画

「国土利用計画法」に基づいて、総合的で計画的な国土の利用を図るために策定される計画。全国計画、都道府県計画、市町村計画により構成されている。

■コミュニティ（community）

居住地域を同じくし、利害をともにする共同社会・地域社会。まちづくりでは、住民相互のコミュニケーションが図られ、住民や家族の生活がより豊かなものへと広がった地域社会という意味合いを持っている。

■コンパクト

小型で中身が充実していること。まちづくりでは、スプロールと反対の意味合いを持っている。

さ 行

■ 里 山

集落の近くにあり、かつては薪炭用木材や山菜などを採取していた、人と関わりの深い森林地域のこと。

■ 市街地の空洞化（ドーナツ化）

中心市街地の人口が減少し、郊外の人口が増加する人口移動現象のこと。人口分布図で見ると、中心部が空洞化することからドーナツ化とも呼ばれる。

■ 商業系ゾーン

商業施設、業務施設などが集積する地区、範囲のこと。

■ 森林セラピー

森林や森林を取り巻く環境などを活用して、健康の回復・維持・増進を図るための取り組み。森林浴などのレクリエーション活動や、医療、リハビリテーション、カウンセリング活動などあり、「セラピーロード」「森林セラピー基地」の認定などが行われている。

■ 集約型都市構造

都市の中で一定の地域を都市機能の集積する集約拠点として位置づけ、集約拠点とその他の地域を公共交通などを利用して連携させる都市構造のこと。

■ 親 水

水との親和性があること、水に親しむことの意味。親水空間とは、例えば河川における水辺など、人々が直接水に触れたり、水生生物を見たり楽しむことができる場所。

■ スプロール

都市の郊外に、宅地などの開発が無秩序に拡散していく現象。

■ スマートインターチェンジ

E T C（電子料金収受システム）専用のインターチェンジ（有料道路から一般道への出入口）のこと。主にサービスエリアやパーキングエリアで出入できるものとして認知されており、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来のインターチェンジに比べて低コストで導入できる。

■ 総合計画

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画から構成される。基本構想は、長期的展望に立った基本理念のもとに、目標年次における将来像を描き達成すべき目標と施策の大綱を定めたもの。基本計画は、基本構想に基づき行政各分野の現状と課題をまとめ、今後の施策を具体的に示したもの。実施計画は、基本計画で定められた基本的な施策を、財政計画とも整合のうえ効果的に実施するための年次計画。

■ゾーン (zone)

計画などで用いる区域や範囲。

た 行

■地区計画

都市計画の一つで、良好な市街地を形成していくために、地区内の道路・小公園等の宅地廻りの施設と建築物の用途・形態などを一体的に定めることのできる計画。地区の特性に応じて幅広く、総合的にきめ細やかに計画ができる。

■治 水

洪水による水害の防止や農業用水の確保などのために、河川の改良や機能の維持を行うこと。

■D I D

人口集中地区。(densely inhabited district)

1) 国勢調査区を基礎単位として用い、2) 人口密度 4,000 人/k m²以上の調査区がまとまって、3) 人口 5,000 人以上を構成する地域のこと。このD I Dの変遷を図にすると市街化の変化が理解できる。

■デマンド交通

利用者それぞれの希望時間帯、乗車場所などの要望(デマンド)に応える新たな公共交通のこと。

■道路略称 (主)、(一)、(市)

国道、県道、市道の略称。 国道= (国)、主要地方道= (主)、一般県道= (一)、市道= (市)と省略した標記。

■都市集積地

人口や企業などが集積すること。これらが集積した都市のこと。

■都市計画基礎調査

県が「都市計画法」に基づき、都市計画区域内の都市の現状や都市化の動向について広範囲なデータを把握するため、概ね5年ごとに行う調査。

■都市計画区域

都市計画の基本理念を達成するために、市町村の中心市街地を含み、かつ一体の都市として総合的に整備や開発、保全する必要がある区域として都市計画法等の適用を受ける土地の範囲をいい、県が指定する。

■都市公園

都市計画区域において、市町村が設置する公園又は緑地。機能的に、街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園などに分類される。

■都市施設

都市を構成する上での基本的な施設。「都市計画法」では、①道路・鉄道・駐車場等の交通施設、②公園等の公共空地、③水道・電気・ガス等の供給処理施設、④河川等の水路、⑤学校・図書館等の教育文化施設、⑥病院・保育所等の医療・社会福祉施設、⑦官公庁施設、⑧通信・防災施設等が定められている。

■都市の再構築（都市リノベーション）

地方都市の既成市街地において、既存ストックの有効利用及び民間活力の活用を図りつつ、持続可能な都市構造への再構築を図るため、地域に必要な都市機能（医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業等）の整備・維持を支援し、地域の中心拠点・生活拠点の形成を推進すること。

な 行

■ネットワーク（network）

網状組織、つながりの意味。ここでは、複数の公園や道路など、施設間の連携を図ることにより、全体としては、個々で持つ能力の総和以上の効果や効率を生む体系。

■農業集落排水

農業振興地域において、農業用水の水質汚濁防止と農村集落の生活環境の改善を目的に実施する汚水処理。

は 行

■ハザードマップ（hazard map）

自然災害による被害を最小限にとどめるため、洪水の氾濫危険区域図、土砂災害危険区域図などをもとに、災害が発生した場合の状況を想定し、避難地・避難路の位置・災害時の心得等を具体的に示したもの。

■バリアフリー（barrier free）

障害のある人、高齢者などが社会生活をしていくうえで障壁（バリア）となるものを除去（フリー）すること。

■フレーム（frame）

枠組み、骨組み、又は数値。

ま 行

■モビリティ・マネジメント（Mobility Management、略称 MM）

モビリティ・マネジメントとは、一人ひとりのモビリティ（移動する状況）が社会的にも個人的にも望ましい方向へ、自発的に変化することを促す取り組みのこと。

ら 行

■緑 地

公園施設はほとんど設けず自然のまま、又は園路・植栽を施す程度の公共的な樹林地、草地など。機能的には公園と異なるものではない。

駒ヶ根市都市計画マスタープラン

平成26年6月

編集 駒ヶ根市建設部都市整備課

発行 駒ヶ根市

〒399-4192

長野県駒ヶ根市赤須町20番1号

TEL 0265-83-2111

FAX 0265-83-1278

URL <http://www.city.komagane.nagano.jp/>



駒ヶ根市